

	△の数	訂 正 記 事	担当	検図	年月日		△の数	訂 正 記 事	担当	検図	年月日
△							△				
△							△				
適 用 規 格											
定 格	使用温度範囲		-55℃ ～ 85℃ (注1)			保存温度範囲		-10℃ ～ 60℃ (注2)			
	電 圧		AC 50 V			使用湿度範囲		相対湿度 95%以下			
	電 流		0.3 A					(ただし、結露しないこと。)			
性 能											
	項 目	試 験 方 法				規 格		QT	AT		
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。		○	○		
	表示	目視にて確認する。						○	○		
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。				60 mΩ以下		○	○		
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。				100 MΩ以上		○	—		
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○		
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。				差込力 48 N 以下 引抜力 5.2 N 以上		○	—		
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 方向各 10 サイクル試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3方向各 3 回試験する。						○	—		
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3 分 を 5 サイクル試験する。						○	—		
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下		○	—		
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。				② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下		○	—		
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: J I S C 0 0 9 0)				② はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内 はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと		○	—		
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95 % 以上が 新しいはんだで濡れていること。		○	—			
備考						製 図	担 当	検 図	承 認	出 図	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。											
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		製品規格表				製品名 FX10A-80S/8-SV(71)					
旧CL CL		図番 SLC4-151976-25		製品コード CL570-0201-4-71		1 1					